



平成28年度一般会計補正予算(第3号)ほか すべての議案を可決

甲斐よしと議員に対する問責決議、全員賛成で可決

平成28年第2回定例会は、6月1日から6月23日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案12件、議員提出議案(決議)1件を議決しました。(結果は8頁に掲載)

一般質問では、5日間にわたり、23名の議員が市長等と活発な議論を交わしました。(2~8頁に掲載)

初日の本会議において甲斐議員より陳謝が行われ、最終日には、甲斐よしと議員に対する問責決議が提出され、全員賛成で可決しました。(陳謝と決議は7頁に掲載)



専決処分について(平成28年度一般会計補正予算(第2号))を全員賛成で承認

本議案は、平成28年度一般会計補正予算(第2号)を専決処分したので議会の承認を得たいというもので、内容は固定資産税・都市計画税の住宅用地に対する課税標準の特例を適及適用すべき案件が判明したことから、速やかに還付処理を行う必要があり、専決処分を行ったというものです。この議案は補正予算審査特別委員会(委員長:岩永康代、副委員長:尾作義明、ほか委員6名)を設置して審査しました。

総務委員会での報告

補正予算審査特別委員会の前の総務委員会では、担当から「近隣市で老人施設等への固定資産税等の誤課税があったとの報道を受け、本市の状況を調べたところ2か所で誤課税が判明した。当初課税時に遡って訂正し還付するための予算を補正した」という説明がありました。委員からは「今までの課税を誤りと判断した根拠は何か」「今後、老人施設は特例が適用されるのか。老人施設と同様の基準で病院を建てた場合はどうか」「誤課税防止のための体制を今後どう整えるのか」「税額還付することで納税者側に不利益は生じないか。生ずるようなら、不利益の救済を目的とする要綱の目的に反するのではないか」といった質疑がありました。

専決処分の必要性が不十分

補正予算審査特別委員会でも担当から誤課税を確認し是正するまでの経緯等の説明がありました。委員からの「この案件はなぜ専決処分したのか。他の方法はなかったのか。専決処分の濫用は、議決を経ないため議会軽視ではないか」という質疑に対し市長から「今回は総合的判断から専決処分したが、濫用するつもりはない」との答弁がありました。

他にも「誤課税は100%市の責任か」「病院は特例の適用を受けられないのか」「還付するこ

とを補助金等審査会に諮問したのか」「市内の特例の対象となる施設は全て調査し、誤りがないことを確認したのか」「他市の誤課税報道後の国分寺市の対応は時間がかかりすぎていないか」「税法上の時効は5年、要綱で市民の不利益を解消するため20年まで遡って補助するとした理由は何か」といった質疑がありました。

要綱に誤りが判明

他にも質疑の中で、今回の還付額の算定根拠として要綱の附則を適用しているが、昨年要綱改正時に附則に条ずれを起こしたままであることが判明。附則は適用できないとの指摘がありました。総務部長から「附則の条ずれは明らかミス。速やかに改正し、相手方には丁寧に説明し理解を得たい。今後はこのようなことがないようにしたい」との答弁がありました。

委員会では採決前に「補正予算は専決処分ではなく議会の議決に付すべき。また要綱行政も改め条例規則化してほしい」「福祉施設を誘致していくためにも税の誤課税などがないようにしてほしい」といった討論がありました。採決の結果は、委員会、本会議とも全員賛成で承認されました。

平成28年度一般会計補正予算(第3号)を賛成多数で可決

本補正予算(第3号)も補正予算審査特別委員会で審査しました。補正予算の内容は、歳入歳出予算の総額413億2,722万5千円に5,339万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を413億8,061万8千円とするというものです。

補正予算審査特別委員会では、個人番号カード交付事務の円滑化を図るための体制強化等に関し「個人番号カード交付の遅れは地方公共団体情報システム機構(以下「J-LIS」)のシステム障害が原因で、国とJ-LISに責任がある。本補正の財源補助は国等に、システム障害の原因の説明と具体的な改善策をJ-LISに求めるべき」といった質疑がありました。

不登校傾向にある児童とその家庭を支援する「学校と家庭の連携推進事業」、次の学習指導要領改定時の道徳教育教科化に向けた研究開発を行う「道徳教育推進拠点校事業」、おたかの道湧水園内にある「長屋門」の保存修理工事管理

委託料の増の内容等を確認する質疑がありました。また(仮称)国分寺市スポーツ振興計画策定に伴うアンケート調査委託料の増に関し「計画に障害者の意見を反映すべき」「アンケートの回答率が高くなる工夫を」「より多くの方の意見を収集できる取組・工夫を」といった意見・要望がありました。

「こくベジ」によるまちの魅力発信

本補正予算には、国分寺の地場野菜『こくベジ』を活用した観光・地域振興推進事業業務委託が組まれていることから、補正予算審査特別委員会の前の総務委員会では「『こくベジ』を使用したメニュー提供での来訪者の満足度向上等を目標とした事業委託」の説明がありました。総務委員からは「『こくベジ』のPRが先行している感があるが、基本条件や進め方等を検討し推進を」といった質疑がありました。

補正予算審査特別委員会では「地場野菜を活用したまちの魅力発信には農家の方と情報共有し、市全体が盛り上がる取組を望む」「地場野菜でも目玉となる品種に限定し、それを前面に出した企画が必要ではないか」「生産者である農家と消費者である市民がお互いの声を聴き、流通の仕組みづくりを優先的に行うべき」「地場野菜を活かした観光・地域振興推進施策に財源補助を継続することは、市政戦略の視点からはそぐわない」「『こくベジ』メニュー等の定義・規格を明確にすべき」との質疑・意見が示され、市長からは「国分寺の野菜を使ってくれる方が増えれば、さらに野菜の生産等全体的に評価が上がる。都市部で市民がふれ、昔の農法も使いながら大事に育てていることが『こくベジ』というブランド化につながる。このプロジェクトは今後3年間、試行錯誤しながら補助金を活かし進めていく」との答弁がありました。

委員会では採決前に「個人番号カード交付に係る補正予算は、J-LISのシステム障害が要因であり、国等に財源補助等を求めるべきである。道徳教育が教科化され、価値観が評価されることは戦後の民主主義教育を壊すものである」との反対討論と、「『こくベジ』によるまちの魅力発信は、国分寺の農業振興に大変有効。人口減少の食い止めにも寄与する。本取組の成功を期待する」「個人番号カード交付に係る補正は国の新たな財源措置を期待する。『こくベジ』は、成果が出せるようしっかり計画を構築し取組むことを期待する」との賛成討論がありました。本会議でも同様の反対討論がありましたが、委員会・本会議とも、賛成多数により可決しました。

このたび「平成28年熊本地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

犠牲になられた方々のご遺族の皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。

国分寺市議会といたしましても、被災地への支援について最大限の努力を行っているところであります。一日も早い被災者の方々の心の平穏の回復と被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。

東京都国分寺市議会

市政を問

平成28年 第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

多様な避難を想定した
マニュアルの整備を

国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆総合教育会議 秋本市民との協働で子育て子育て支援を進める視点から、会議が市民への情報発信の場となり、より広く市民参加を促すような公開の仕方を考えるべきではないか。答会議の第一義的な目的は、教育委員会と市長部局の十分な意思疎通であると考えている。秋本学童保育の狭隘は市の喫緊の教育課題であり、利用者からも狭隘によるトラブルの話も聞く。生活の場としての機能を早急に、また十分に確保する必要がある。会議のテーマとして取り上げることを提案する。答学童保育の狭隘状況については認識している。改善に向けて努力していきたい。まずは両部で議論し、解決策に向けた案をつくる中で、会議のテーマにあげるかを考えていく。秋本市民に課題として公開し、実態を共有することで、市民参加で解決策について積極的に議論していくことを求める。

◆防災まちづくり・避難所運営マニュアル

秋本熊本の震災では、一般避難所の熊本学園大学が要支援者を含むあらゆる避難者を受け入れ話題となっている。二次避難所や福祉避難所が機能しない場合に、あらゆる方が共に避難生活を送ることも想定すべき。様々な対応を可能にするため、具体的な課題解消についてマニュアルを修正していく必要がある。答被害想定以上の場合に臨機応変な対応は重要。マニュアルは過去の災害の問題や課題を検証の上、修正している。熊本の事例も市に活かせるものは取り入れていく。秋本地区防災センターで要支援者の避難生活に対応するには、バリアフリーの施設整備が必要になるが、いかがか。答選挙時に使用するスロープの利用等、今後の検証後、様々な視点で有効な対策が講じられるよう、順次対応していく。秋本熊本でも、トイレの課題、乳幼児や妊産婦への配慮、子どものストレスケア等、今までの震災の課題が繰り返された。災害弱者への支援や避難者の人権に配慮した避難所の環境整備を進めるべき。そのために女性の暮らしの視点の強化を求める。答熊本の課題を整理し、更なる強化修正を行う。秋本そうした視点で各校のマニュアルを整備し、普段から学校と地域とで確認する会を上げてほしい。学校と地域を結ぶ役割として防災推進委員に協力の働きかけを。答17か所全て独自の運営マニュアルの作成を確実に進めていきたい。

人口減少、未来を見据えた
課題解決を

自民党国分寺市議団 本橋 たくみ

●市庁舎の建設について

本橋市民サービス、防災面からみても早急に市役所の建て替えを検討していく時期に来てい

ると考えるがどうか。市) 新庁舎の必要性は認識している財政状況をみながら時期について判断していく。

●都市計画道路国3・2・8号線について

本橋平成28年度中に暫定開通をすることのだが、近隣住民への情報提供をしっかりと行っていただきたいがどうか。市) 市民に対する情報提供をしっかりと行っていく。

●ペットボトルの戸別収集について

本橋現在は拠点回収で行っているが、他の自治体ではほとんどが戸別回収を行っている。当市でも戸別収集を導入していく必要があると考えるがどうか。市) 必要性は認識している。課題等を整理して検討していく。

●公共施設のLED化について

本橋省エネ面、また寿命の面からしても現在、まだ導入されていない、いずみプラザや教育施設にもLEDを導入していく必要があると考えるがどうか。市) 財政面を考慮しながら進めていきたい。

●スポーツ振興について

本橋多目的グラウンドが必要だと考えるが、なかなか土地も限られているし財政的にも新規でグラウンドの用地を確保することは難しい。例えばけやきスポーツセンターのグラウンドを拡幅するなどして、スポーツ環境の向上を行っていただきたいと考えるがどうか。市) 様々な課題を整理した上で判断していきたい。またオリンピックの合宿所の誘致を積極的に行っていただきたいがどうか。市) 施設面等課題を整理して誘致を考えていきたい。

●待機児童解消の取り組みについて

本橋全国的にも問題となっているが、当市でも102名の待機児童がいる状況であり、今後3園の保育園が開園予定である。しかしながら新規に保育園を作ってもなかなか待機児童が減っていかない。既存園の定員の拡充などして少しでも減らしていく努力が今後も必要であると考えている。既存園の定員の拡充、また分園方式など今後も待機児童解消に向けて積極的に取り組みを行っていきたい。

恋ヶ窪駅→東恋ヶ窪5丁目
路上を禁煙に!

自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼熊本地震を国分寺市防災力向上の教訓に!

被災者各位に心よりお見舞いさせて戴くと共に、一刻も早い復興を切願させて戴きます。

【問】熊本地震復興に国分寺市は尽力したか?

【答】①4/18~19、市職員らにより街頭募金を実施し2,687,886円寄付②東京都の要請で被災建築物応急危険度判定員1名、り災証明書発行支援業務2名を被災地へ派遣、救援物資も準備した。

【問】被災地派遣を通じて苦労した点、国分寺市の防災に参考になる点はあったか?

【答】被災者の悲痛な要望に必ずしも応えられず心が痛んだ、活かしたい点としては地元職員からの指示体制が煩雑であり、担当区域割りな

ど事前の運営計画が重要と感じた。また、避難所の正確な情報収集や支援物資の運搬体制など参考になる点多くフィードバックしたい。

【問】震災時の職員行動マニュアルへの反映は

【答】熊本地震派遣職員の経験をはじめ型にはまった対応ではなく、車中泊など新たな問題点も合わせ臨機応変な活動が出来るよう見直す。職員だけでは対応出来ない部分も多くあり、受援力を活かすとともに市民の皆さんの力もお借りして国分寺市総合防災力向上を常に意識した取り組みをしていきたい。

▼路上禁煙地区の見直しと喫煙所表示の必要性

私は非喫煙者ですが嫌煙家ではなく、喫煙所の適切配置による禁煙地区指定が肝要と考える。

【問】国分寺市ポイ捨ての防止及び路上喫煙の規制に関する条例施行後10年経過した。どのような取り組みをしてきたか?

【答】路面禁煙ステッカー貼付、禁煙横断幕掲示、マナーアップ指導員巡回等々実施。喫煙所の配置についても適宜実施しており、この10年間で一定の成果をあげているものと考えている。

【問】10年前とは駅周辺の環境が激変している。特に恋ヶ窪駅から東恋ヶ窪5丁目方面の遊技場に向かう人のポイ捨て禁止や路上禁煙意識が低いので、喫煙箇所の適正配置をしたうえで禁煙地区の見直しをされたい。

【答】喫煙ポイント以外に煙が流れないようにパーティションを設置するなど日本たばこ産業株式会社にも協力して働き工夫をしてきている。市道東222号線という道路には「こもれびの森保育園」がある、状況に応じて対応する。

熊本地震に学び
いのちを守る施策の
充実を!

公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて
 - (1)市総合防災訓練はより体験中心であるべき。市) より実践的に対応のできる訓練にしたい。
 - (2)マンホールトイレ設置は重要。目標設定していくべき。市) 感染症対策からもマンホールトイレ設置の計画検討を始めたい。(3)福祉避難所の協定は進んでいるが、非常時、確実に開設できるように開設マニュアル整備が必要。市) 整次ページに続く➤

映像配信について



平成28年第2回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第3回定例会一般質問のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信QRコード

備を進めていきたい。(4)耐震診断から改修につながる施策が重要。無料化した耐震診断の利用者アンケート調査をして事業の成果をはかるべき。市) アンケートはニーズ把握に有効な手段のため、実施したい。又、除去に対する支援制度の構築も視野に検討したい。さの) 地震対策として家具転倒防止対策は効果的である。今後、市としてどう取り組むか。市) 安価で良質な防災用品を斡旋する仕組みづくりを進めている。

2. 第4次男女共同参画基本計画をふまえた取り組みについて(1)第2次男女平等推進行動計画に介護と育児が同時進行する「ダブルケア」の視点を入れていただきたい。市) 検討組上に乗せていきたい。(2)女性の視点を防災に活かすために防災担当女性職員の存在は必要。市長) 女性職員配置は有効的。人数枠の確保はしたい。

3. 女性のがん対策について

子宮がんには頸がんと体がんがあり、体がんは増加の傾向にある。罹患年齢も違うことなど、広く周知することが受診率向上にもつながる。市) 市の検診では医師の判断で50歳以上の方は体がん検診もできる体制。その年齢層をターゲットにした周知方法を考え、子宮がん検診の重要性を伝え、受診勧奨に努めてまいりたい。

4. 切れ目ない子育て支援について

妊娠、出産から子育ての切れ目ない支援をすることが大事である。とりわけ産後ケアは重要だが、市としてどう取り組むつもりか。市) 産後ケアをするためには妊娠期からつながる必要性がある。まずは保健センターと親子ひろばが連携して身近な相談体制構築からはじめたい。

5. 認知症対策について

65歳未満の若年性認知症の方の相談体制はどうなっているか。今年度開設した認知症カフェを居場所として利用をすすめるべき。市) 市は高齢者相談室が窓口。地域包括支援センター、地域連携型医療センターとしっかり連携したい。

上杉謙信は国分寺を通ったか



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 前回に続いて市内文化財・歴史的遺産の保存状況、広報の現状についてお聞きしたい。全国初の旧石器時代の遺物の発見地、恋ヶ窪の熊ノ郷遺跡の説明板の設置の可能性は。

教育部長) 熊ノ郷遺跡の学術的意義を伝える説明板は設置の方向で関係課と協議中です。

新海) 本町2丁目～南町で全国で最初に見つかった縄文時代の遺物が層状に見られる遺物包含層発見地の説明板については現地に戻せるか。

教育部長) 北口の自転車駐車場建設時に設置してあった説明板を撤去したが、重要な遺跡であることから、現在設置可能な場所を検討中。

新海) 鎌倉街道は東山道武蔵路の上を通過している。この時、武蔵路は無かったと思われる。武蔵路はいつ頃まで使われていたのか。

教育部長) 武蔵路は771年に東山道から東海道を所属変えされ駅路としての使命は終えているが、その後も北関東と南関東を結ぶ道路として機能していたことは発掘結果からも判明している。しかしその終焉は明確ではない。

新海) 「前9年の役」と「後3年の役」に出陣した源頼義と源義家が国分寺と府中に滞在したことは記録にある。義家が最後に通過した1091年には武蔵路は健在だったと思われる。この二人の他、武蔵路は平将門が、また鎌倉街道は源

頼朝、畠山重忠、新田義貞、足利尊氏、上杉謙信等が通過している。現在の伝鎌倉街道や東山道武蔵路の説明に、これ等歴史上の有名人がここを通ったという説明を入れられないか。

教育部長) 通った可能性はあるが、市として明確に説明板等を設置する場合は、歴史的に正確性を期して行かなければならないと考えます。新海) 正確を期するのは難しい。しかし前後の記録から推測してほぼ確実なものは国分寺の観光要素を高めるためにもPRしていきたい。

新海) 国分寺薬師堂は毎年10月10日ご開帳があり、全国各地から多くの人々が来ているが、中心は国分寺講の方々である。国分寺講についてお聞きしたい。

教育部長) 明治37年頃の国分寺村の八幡社、薬師堂の祭礼では本村62戸と停車場25戸が表記されている。基本的には江戸時代以来の旧国分寺村と現本町の方々が構成されている。なお八幡社の氏子は昭和8年に国分寺駅北口に八幡神社が分社したことで別になっている。

防災対策 & 西町サンライト 地域交流室開放を



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

西町の特養サンライト地域交流室の早期開放を

だて) 地域の皆さんがサンライト交流室の一般開放を心待ちにしているが、その後の進捗は？市) 運営側も地域に開かれた施設を目指すと言っている。市としても働きかけを進める。

だて) 一日も早い市民利用の実現を要請する。

熊本地震から考える地域防災計画について

(1) 初期消火力の強化に向けて

だて) 災害時の火災延焼防止に大きな役割を果たす消火器だが、多くの市民が常備していない現実がある。市としても購入補助など、消火器を求めやすい仕組みづくりを検討してほしい。市) 現在、消火器を含む、良質な防災用品を市民に安価で購入して頂けるような協定を結ぶべく、検討を進めている最中である。

(2) 避難所でのプライバシー保護について

だて) 避難所における、特に女性へのプライバシー保護については初動対応が一段落した後の、二次的な対応として行うのではなく、システムとして初動時から組み込んで頂く事が重要であると考えます。そこに必要なものは「男性の理解と協力」である。そのような理解を浸透させるための方策について市の考えを伺う。

市) 避難所運営での女性視点は非常に重要であり、本市でも更に対策を充実させていきたい。また、防災まちづくり学校などを通じて、男性の理解促進に向け、取り組んでまいりたい。

(3) ペットへの対応について

だて) 多くの方が家族の一員として、犬や猫をはじめとしたペットを飼っているが、今回の熊本地震でも、鳴き声などを気にして避難所ではなく、車中泊をした方が多く見られた。震災時の同行避難に関する想定はどうなっているか？市) 市の畜犬登録は5044頭。そのうち1500人くらいが同行避難をするのではと推測する。猫なども含めた細かな分析は現状行っていない。災害時には動物避難所の設置を行うべく、獣医師会と協定を結んでいる。

(4) り災証明発行について

だて) 被災者の生活再建に必要な、り災証明の発行は総じてスムーズにいかないことが多い。熊本地震でも使用された「り災証明発行システ

ム」を当市でも早期に導入すべきと考える。市) 熊本でも有効に活用されたと聞いている。導入済みの自治体にヒアリングなどを行いたい。

知って、来て、住み続けたい まちを目指して



公明党 なおの 克

●子育て支援について

問) 子ども医療費の無料化について、少子化対策や子育て環境の充実を図るため、子どもの医療の無料化が広がっている。当市でも無料化の対象を広げていく必要があると考えるが？

子ども家庭部長) 全体の施策の中でどのようなことが効果的にできるか、研究していきたい。

問) 独自の育児支援制度について、出産時のお祝いや多子家族のサポート等、子育て支援施策を独自で設けている自治体が増えている。創意工夫でさらに喜ばれる支援施策を求めたい。

子ども家庭部長) 例えば、親子ひろばの利用者に今どんなニーズがあるのか聞き取りをし、先例事例とともに研究し取り組んでいきたい。

●まちの魅力発信について

問) 当市のまちの魅力発信として、課題抽出し、しっかりとしたマーケティング戦略や計画を立てていくことが重要だ。観光案内・マップのHPの充実や観光協会・商工会との連携、都庁の観光案内ブースの活用、外国人へのアプローチ、各機関との協力体制等、充実を図って頂きたい。政策部長) 今後の検討の中にいれてまいりたい。

●ぶんバスについて

問) けやきルート(東恋ヶ窪周辺地域)本運行に向けて、早期実現を強く求める。

都市計画担当部長) 東恋ヶ窪三丁目周辺の公共交通空白地域において課題の転回場所の確保のめどがついた。年内の運行開始に向けて運行事業者の公募を行い、12月の運行を目指している。

●国分寺駅北口周辺まちづくりについて

問) 自転車駐車場対策について、鉄道事業者の責任において、整備するよう誘導すべきでは？都市建設部長) 引き続き協力を求めていきたい。

問) 商業振興を鑑み、買い物利用者や駅前商店の利用者に駐輪施設を数時間無料化していくことを政策的な取り組みが必要ではないか？

都市建設部長) 一定時間無料化を研究する。

問) 国分寺駅北口の東側エリアの活性化に向け、国分寺駅北口自転車駐車場の土地をどう活かしていくのか、北口再開発と一体的に高度・有効利用をすべきだ。市は地権者として、民間と連携した事業展開を目指して、まちづくりの方針を示していく必要があるのではないか？

市長) 指摘のところは市の重要な財産である。有効な利用を考えてまいりたい。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成28年第3回定例会は、9月1日(木)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

子どもの貧困対策は 社会のインフラ整備



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■子育て支援策■**岩永** 貧困や虐待の背景には、孤立や公的支援の不足等、個人的な要因だけではない様々な社会的要因がある。貧困の背景も含めた**実態把握**を。他自治体の調査結果等も含めて研究する。**岩永** 策定中の総合ビジョンに**子どもの貧困対策**を位置づけ、市民の力もお借りしながら進めていただきたい。**岩永** 子育て支援全体の中で子ども達を守る趣旨を盛り込めるように検討する。**岩永** リスクのある妊婦さんの早期支援が重要。母子手帳配布時のアンケート項目の見直しと、1月から開始された子ども家庭支援センターでの母子手帳交付の更なる周知を。**岩永** 年度内に精査する。周知方法は検討する。**岩永** 産後うつを初め、産後の心身のトラブルが増えている。市民との協働による訪問支援のしくみづくりと合わせて、**母子保健における専門職による訪問支援の拡充**を。**岩永** 助産師による母子訪問や相談事業の充実が必要。電話での状況確認や職員同行による訪問回数を更に増やす等、顔の見える関係づくりが必要。**岩永** 生活保護の受給者数は毎年増加している一方で、就学援助率は減少傾向にある。教育制度におけるセーフティーネット的役割を担う**就学援助**の更なる周知徹底が必要。また、入学準備金は要保護では3月、準要保護では8月に支給される。必要な人が必要な時に必要な支援を受けられるよう、先進事例を参考に**入学前支給の実施**を。**岩永** 各市の動向を見極め必要であれば検討する。**岩永** 窓口や相談対応の中で、取りこぼさない仕組みづくりのツールとして「連携シート」を活用する等、**庁内連携**の促進を。**岩永** 導入を検討する。

■交通安全政策■**岩永** ハード面・ソフト面の両輪で、計画的に交通安全施策を進めることが必須。中長期的な視点を持ち、市民参加で市の実情に合った「交通安全計画」の策定を。**岩永** 策定に向けた検討を行う。**岩永** 交通安全対策協議会の充実、見守りボランティアの研修、子どもたちへの交通安全教育の推進と合わせて、**交通安全まちづくり**という観点から、市民との協働で地域の交通安全対策に取り組む組織づくりを。

■国分寺まつり■ 2年間続けて特定の団体が出店できなかったが、**今年こそは誰もが参加できるおまつり**にしたい。自治基本条例に基づく参加の権利が侵害されている現状に対し、市民の権利及び利益の擁護に努めること等を要望した。

ピロリ菌抗体検査の 公費助成で胃がん対策を



公明党 高橋 りょう子

(1) 市民の健康推進施策・健診受診について
①**高橋** 25～29歳健康診断が新規事業として開始。**若年層**の生活習慣は将来にも影響し生活習慣の改善、早期発見治療に有効と評価。納税通知書への同封や雇用事業主にご協力頂く等、対象者への情報提供・周知を工夫し受診勧奨を。**市** 市報やツイッターSNS等、世代に合った情報発信ツール活用で直接的な働きかけをする。
②**高橋** 胃がんは死因第3位に位置し主な原因

菌「ピロリ菌」発見には、「抗体検査」が大変有効。公費助成で早期発見治療の後押しを。

市 「ピロリ菌」は胃がん、胃潰瘍等の原因菌とされ除菌で胃がんの発生を抑制し医療費適正化に資すると認識。多摩地域26市中11市で先行実施とも確認している。本市に於いても対象年齢など分析・研究し、導入を検討する。

(2) 食育推進で環境への意識改革を (t:トン)

①**高橋** 国連が食糧難に苦しむ国々に援助している総量は320万tと。日本の年間食品ロスは642万t。内訳は食品関連事業者から330万t、家庭からの廃棄は312万tとの推計が。ホテル業界では結婚式等で残った食事をドギーバッグでお客様にお持ち帰り頂き、途上国の子供達の給食費に充てる取り組みなどが始まっている。私たち家庭から出る食べられる食品の廃棄「**フードロス削減**」によるごみ減量の啓発推進を。

市 食料品は消費・賞味期限を過ぎるとごみに。食育の視点から市民への意識啓発に取り組む。

②**高橋** 贈答品や消費期限前の未利用食品廃棄はもったいない。福祉目的の支援や施設へ寄贈等「**フードバンク**」への活用推進の取り組みを。**市** 賞味期限内に消費できそうもない食品を必要な人に配布する取り組みは有効。研究したい。

(3) 障がい者支援施策について

高橋 視覚障がい者の道先案内となる点状ブロック上に人が立ち看板が置かれている場合がある。最大限の配慮を。**市** 鉄道事業者等設置者に対し安全な移動の確保を求めていく。又市の道路巡回パトロール時にも点検・確認をする。
高橋 障がい者の作品や商品を庁舎・公共施設で販売する等、就労・雇用先拡大支援の検討を。

その他：①聴覚障がい者への手話通訳支援を。

②投票所の増設、投票時間の延長など検討を。

③災害時対応には女性の視点着眼点は大変重要。女性職員の計画的な育成配置や登用等を質問。

戦略的視点と効果的な 市政経営を求める



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

広報・まちの魅力発信について

丸山 当市は各部署毎に広報資料・パンフレットが多く存在するも、全体として市の魅力なり概要を簡潔明瞭にまとめたものはない。市の広報戦略を明らかにする上でも必須と考える。**政策部長** 必要性は認識、まとめて参りたい。

出先機関のマネジメントについて

丸山 ある児童館でランドセル来館の受付につき「電話・連絡帳のいずれか」「電話連絡のみ」と異なる内容の通知が同時期に出された。子ども家庭部長) 事実・状況は把握している。

丸山 矛盾した内容でありおかしい。本件に限らず出先機関のガバナンス・マネジメントに甘い部分がある。連絡・管理体制改善を求める。

子ども家庭部長) 今後改善、改良を図りたい。
熱中症対策・健康増進について

丸山 戸倉第二テニスコートに日除けがない。熱中症につながるおそれがあり対策を願う。スポーツ振興、推奨をする上で、こうした設備面での充足・バランスを図ることが必要である。**市民生活部長** 何かしらの熱中症対策は必要と考える。実効性のある方策を検討したい。

丸山 立川市で「健康フェア」という地域毎に自治会を主体に、健康・医療・介護に関連する諸団体が集まり、参加した市民の状況に合わせて適切なプログラムを提案する取り組みが行われ

ている。健康増進及び地域活性化という点から有効であり当市も行うべきと考えるがどうか。**福祉保健部長** 地域保健・福祉という観点で有効な取組みと考える。地域・関係団体と相談し進めてまいりたい。立川の現場も確認したい。

職員について

丸山 昨年、職員の懲罰基準が民間等と比較し甘いと指摘したが、進捗はどうなっているか。**総務部長** 昨年の指摘を受け、東京都の処分基準を参考に見直しを行っている。基準の適正化・厳罰化を図るため検討を進めている。

資料作成方法について

丸山 市役所の紙使用量が減っていない。要因に資料作成方法の無駄があると考える。民間の資料作成方法を参考にする・統一ルールを策定する等、削減に向けた改革、取組みを求める。**政策部長** 資料作成における統一したルールが現状ない。削減に向け研究を進めたい。

その他 職員研修、地震対策等につき質問。

教育支援は 未来への投資



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろ

◆特別支援教育の水準維持を

星 小学校の通常の学級に在籍している発達障がいの子童の一部は、クラスの授業を一部抜けて、他校に設置された「**通級指導学級**」に通い指導を受けている。2018年度からは、各小学校に「**特別支援教室**」が設置され、児童が移動するのではなく、教員が各校をまわり指導する制度に変わる。これらの教育の目的はなにか。**教育長** 自立活動であったり、教科の補充学習を行うものである。

星 当市の「**通級指導学級**」は、必要な学習が網羅されており、「他市と比較しても充実している」との声をお聞きしている。「制度が変更になっても今の水準を維持してもらいたい」というのが保護者の願い。たとえば、トランポリンやバランスボールなどを使っての指導も行われているが、制度が変わり教員が巡回するときに、教具を持ち運ぶことになるのか。教具・教材の整備をどのように考えているのか。**教育長** 各学校で必要なものは各学校でそろえる。

星 「就労し、きちんと納税者になるように育てていきたい」との保護者の声もお聞きした。子どもたちのそれぞれの個性・持ち味を伸ばして地域・社会の発展に寄与する一員になってもらう。お金のかかる課題も発生してくるだろうが、「**未来への投資**」との観点からこの新制度についてご検討をいただきたい。

◆高齢者の健康づくり

星 「子どもの世話にはなりたくない。介護施設
次ページに続く➤

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。請願・陳情はいつでも提出できますが、平成28年第3回定例会(9月1日開会予定)からの審議を希望する方は、**8月12日(金)**までに議会事務局へご持参ください。

設にも入りたくない。少ないサポートで自立した生活をおくり、元気なままで人生をまっとうしたい」との高齢者の思いをお聞きした。だからこそ市の介護予防のための筋力トレーニングに通っている方もいらっしゃる。現在、3～4か月を区切りとして行われているが、「続けることで筋力の衰えを防ぐことになるので、継続して通いたい」との声がある。

福祉保健部長) この事業の目的は、介護予防の習慣を身につける普及啓発や動機づけにある。卒業後は、地域で行われている体操といったさまざまな活動に参加していただきたいと考えている。

星) 7月いっぱい第I期のみなさんは終了。地域活動へのきめ細かな案内をお願いしたい。

政策決定は客観的に、 透明性と公平性を担保



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 西国分寺駅北口周辺地区について

(1)基礎調査範囲が、東が府中街道、西が国3・2・8、北が国3・4・6だが、府中街道の東側は北口周辺地区に入るのではないかとまちづくりを進めていくエリアを推進地区として指定していく。検討の中で整理していきたい。

(2)JRとはどういう関係になっているか？→現在は協議していないが、今後協議していく。

2. 待機児童について (102名)

(1)既存園の定員弾力化と分園方式で定員はどの位増やせる見込みか？また500名増員計画はどの位達成されたか？→数字ではなかなか出せないが1園1人ずつ拡充していけば60名以上増える。500名計画は401名まで行っている。(2)国の待機児童解消の緊急対策である小規模保育所をつくらないのはなぜか？デメリットはあるがメリットもある。客観的に分析しているのか？→子ども子育て会議で意見を聞いてみたい。

3. 本多学童保育所の臨時職員への有給休暇付与問題について

(1)対応結果は？→25年度までさかのぼり全てのデータを精査し改めて付与し、全員に書面で確認した。(2)今後こういうことがおきかないために何をしたら？→5月1日から臨時職員に渡す任用通知に勤務予定日数を記載することを所属長に通知した。(3)ほかの部署でこのようなことがなかったか調べたか？→確認する。

4. 障がい者サービスと介護保険について

(1)国分寺市は他市に比べて介護保険優先が厳しいという意見があるがいかがか？→厚生労働省の通知書を踏まえつつ、利用者の生活状況や利用意向等を十分に聞いてしっかり支援方針を決定している。(2)市が把握している問題点と対応は？→障がい者支援員と介護のケアマネがそれぞれのサービス内容などについて理解が不十分なので連携を深めていきたい。(3)現場ではヘルパーさんがかかわると障がいと介護の併給のルールが明確でないなどの問題点が指摘されている。決定プロセスの透明化と公平性担保を。

5. 府中街道での自転車事故に関連して道路問題について

(1)恋ヶ窪駅の踏切間の歩道が狭いのはなぜか？→西武鉄道と東京都に拡幅の要請をする。(2)国3・4・6号線の道路照明灯が北側だけについていて南側の歩道が暗い。→対応する。

課題克服へ総力を 財政、待機児童、ぶんバス



公明党 木島 たかし

【今後の財政運営について】

問) 今年度はこの10年間の市政運営の基本方針である第四次長期総合計画の最終年度。その根幹である財政計画をどう総括しているのか。

答) おおむね目標を達成しつつある。ゼロベースからの部局積み上げ予算や臨時財政対策債などの地方債の発行を抑制してきた結果だ。

問) 行政改革に「一段落」はない。万全の防災対策等、安全で安心のまちづくりを進めるためには、今後も行政自らの改革が不可欠だ。

答) 少子高齢化社会への対応や、質の高い行政サービスのためにさらに行政改革に取り組む。

問) 市民への説明責任や公共施設等総合管理計画を今後推進するため、公会計の改革を進め「財政の見える化」を。

答) 複式簿記の導入を前提とした新たな財務書類を平成29年の秋頃の完成を目指して進める。

【待機児童解消への取り組みについて】

問) 待機されている方により親身に寄り添うため、窓口だけの受身的な姿勢から能動的に動くことができる保育コンシェルジュの設置を。

答) 情報等をわかりやすく発信し、さらに寄り添った支援を講じるため、配置を検討したい。

問) 保育士の負担の軽減のために、各保育施設のICT化の推進が必要だ。積極的に対応を。

答) 様々なメリットがあるので検討したい。

問) 市内のJR中央線南側に待機児童が多い実態を踏まえ、民間保育園の誘致に際し十分考慮を。

答) 認識をしている。誘致に向け努力したい。

【ぶんバス12月新規ルート開設に全力を】

問) 史跡周辺地域から東恋ヶ窪周辺を結ぶルートとして12月運行に向けて進められるが、運行の時間帯は可能な限り長くするべき。

答) 現在朝7時台から夜8時台で検討している。

問) バス停の設置箇所は？

答) 最終的には交通管理者と運行事業者との協議で決定するが、市としては、西元町三丁目、府中街道の黒鐘公園入口、いずみプラザ周辺、西国分寺駅東の交通広場、武蔵国分寺公園周辺国分寺駅南口の本町南町地域センター付近、東恋ヶ窪三丁目を基本としていきたい。

他に、①「かかりつけ」医等の普及を積極的に推進するために、さらなる意識啓発の取り組みなどを求めました。②旧西東京警察病院跡地の今後の方向性について質問しました。

生活困窮者支援に 家計相談、就労支援を



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

◆介護予防・日常生活支援総合事業について

(問) 要支援の方を対象とした訪問介護、通所介護は、多様な担い手による新たな事業へと大きく転換する。緩和した基準による訪問型サービスでは、資格がなくても研修を受講した方がサービスの担い手となるが、利用者の安全性の確保と安心して働ける環境整備は欠かせない。研修では、新総合事業の趣旨や認知症への理解など基本的な内容に加え「自立支援の観点から

の家事援助の方法」をプログラムに入れることを提案(答) 高齢者の能力や機能を維持向上する「自立支援」の視点は一番大事。研修体系や必要なスキルの習得方法などを協議体で検討し、安定的な運営を維持できる体制をめざす。

◆生活困窮者自立支援について、家計改善に向けて、任意事業である家計相談支援の実施を！

(答) 相談支援の過程で家計状況の把握に努めているが、専門的な資格を持ち特化した方がいい場合もある。状況を把握し判断していく(問)

就労支援について、すぐに一般就労につながる方ばかりではない。対象者の状態に応じた就労体験の場が必要だ(答) 必要だが、なかなか見つからない(問) 関係機関が参加する「就労支援地域連絡会」に現状を発信し連携を！(答)

連携していく(問) 食の支援について、まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人や施設に届ける「フードバンク」の取り組みを環境と福祉が連携して進めることを求めてきたがいかがか？(答)

委託先の社協が都内のフードバンクを活用し19件の食料支援を実施した(問) 生活困窮者を支援する団体等とも連携し、食の提供を必要とする人に食品が届くしくみづくりを求める。

◆動物と共生するまちづくりについて

(問) 動物に関する苦情で最も多いのが「犬」。飼い主と離れてもほえない、他人や他の犬を怖がらない等、普段からのしつけと飼い主のマナーが重要。しつけやマナー教室を市民活動団体と開催することを提案(答) 多摩地域18市で犬の飼育教室が開催されている。研究したい。

◆循環型都市農業のしくみづくりについて、生ごみたい肥化事業に団体登録するには、専用回収容器の設置が必要となるが、誰もが参加しやすい方法の研究を求めた。また、国分寺産野菜の価値を積極的にアピールすることを要望した。

市民と共に国分寺市の 魅力の発信を！



自民党国分寺市議団 田中 政義

1. 熊本地震に対する国分寺市の支援と今後の震災対応について

問) 今回の地震では避難所に収容し切れず、建物の外であるとか車中泊された被災者が多数いたということで、そうなれば雨露をしのぐテン

次ページに続く▶

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

平成28年第2回定例会終了後、第3回定例会までの委員会等は下記のとおりです。

7月15日(金) 議会運営委員会

7月25日(月) 国分寺駅周辺整備特別委員会

7月26日(火) 総務委員会

8月1日(月) 厚生委員会

8月4日(木) 文教子ども委員会※

8月8日(月) 建設環境委員会

8月30日(火) 代表者会議、議会運営委員会
市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

※8月4日の文教子ども委員会は午後1時30分から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

トや炊き出しをする際のテントなどが十分備わっている必要があると考える。現在国分寺市で備蓄しているものだけでは不十分ではないか。加えてアウトドア用のキャンプトントも大変有効であると聞いている。市でも確保してはどうか。**総務部長**) 市の避難所のスペースを考えた場合、全避難者が入り切れるだけの避難スペースは確保できていないというのが現状であり、テントの活用、備蓄について議員紹介のキャンプトントと合わせて検討していく。

2. 地場野菜と「こくベジ」について

問) 昨年度からプロモーションに力を入れ、市の観光資源として取り組まれてきた。今年度も続けていかれると思うが、何より大切な事は生産者である農家の方々、JA、商工会としっかり連携を取り、外への発信の前にまずは市民への周知に重きを置いて市の大きな魅力の1つとして進める事だと考えるが如何か。

政策部長) 引き続き全庁的に取り組む必要がある。農業者の方々をはじめ関係機関と密に連携を深めて進めて参りたい。

田中) 市民の声が外への大きな発信源になると思う。自信を持って進めて頂きたい。

3. 国分寺駅北口再開発地域のにぎわいの創出について

問) 以前にも質問しているが、商工会に展示している七重の塔の模型を再開発ビルに設置する提案について進捗を伺う。

都市開発部長) 歩行者の安全確保、またビル権利者の皆様の同意を得ながら前向きに検討しており現在、立体広場で人目に付きやすい場所を選定しているところである。

問) 多くの方々に愛でてもらえるよう今後も願います。次に工事エリアを囲むフェンスについて、市内のイベントの広告や学生の作品展示等に利用できないか。**都市開発部長**) 更なるにぎわいの創出の為にいつでも活用できるよう特建者と調整している。

その他) 買い物弱者対策について、空き家対策について、振り込め詐欺対策について質問した。

安心・安全のまちづくり



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●待機児童解消について

尾作) 今年度当初102名の待機児童の内、96名が0～2歳児。この2年間で6園、約402名の拡充が計られるが、0～2歳児の枠は多くはない。市は現存の園の拡充、分園を方針としているが、子どもの送り迎えなど利便のよい国分寺

第2回定例会陳情の審議結果

第2回定例会では陳情1件が付託され、継続中の3件と併せて審議した結果、継続4件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第27-9号 国3・2・8号線事業の車線数変更を東京都へ求める陳情

陳情第28-1号 子どもをめぐる施設に対する安全ガイドライン策定に関する陳情

陳情第28-3号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員の意見書提出を求める陳情

駅、西国分寺駅周辺へ新規の小規模園を増園することも、検討するべき。

部長) 小規模園の誘致によるその解消には効果がある。3歳からの環境変化など課題の解決が必要。今後の整備に、条件設定など検討を行う。**尾作**) 一時預かりの充実も検討いただきたい。

●東山道武蔵路跡の整備について

尾作) この3月に発行された学術報告書では国分寺崖線の下、立川段丘の調査から、その構造、周辺の遺構などから貴重な遺構であることが示されている。今後も調査を進めるべきである。

部長) 古代道路のあり方、僧寺と尼寺との中間地点の遺構の重要性から、更なる調査、保存、活用を図っていききたい。

●電線の地中化について

尾作) 電線の地中化、無電柱化は国土交通省、東京都でも進めている施策である。市内ではまだ少ないが、防災、景観、通行空間の確保のため整備が必要である。今後の取り組みを伺う。

部長) 必要性を認識。都市計画道路、国3.2.8号線では進行中。国3.4.11、国分寺駅北口の交通広場周辺、国3.4.12号線など順次進める。

●国3.4.12号線周辺整備について

尾作) 事業化にあわせて地権者の方々を考えると、用途地域など都市計画の変更を行い、高度利用できるなど沿道の環境を整えていく必要性もある。さらにまちの活性化を考えると、早期の再建プランを提示していかなければならない。用地買収が始まるころには都市計画を変更していく必要があると考える。

部長) 今年度より3カ年の委託により都市マスタープランに掲げた土地利用の見直しについて検討業務を行い、当該地域においても具体的検討を行っていききたい。市民意向の把握とそれを踏まえた実施方針を作成したい。用地買収が本格化する予定の時期には地権者の方々に具体的な都市計画の内容を示したい。

●市民、学校プールの耐震化、生活用水への利用について質問。 飲料水への利用を確認した。

複合的な家族の問題 世帯単位で支援の仕組み



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

★臨時職員の研修、ハラスメント防止対策

皆) 臨時職員も研修が受けられることをアナウンスせよ。事務報告書には嘱託職員、臨時職員が受けた研修の実績人数を記載するように。

答) 業務上必要な研修を受けることが可能で賃金保証もある。事務報告書への記載は工夫する。

皆) 昨年以降、各種ハラスメント防止の要綱等策定せよとの質問をしてきた。現在、策定され施行されている。相談者に不用意な言葉かけ二次被害等の不利益を生じることなく、加害側には聞き取りも行い、公正な対応を行うように。**答)** 秘密厳守する等の配慮、十分な対応を図る。

皆) ハラスメントとは何か、指針の作成を急げ**答)** 6月中には策定が終わるよう現在作業中。

★介護保険制度と障害者サービスの適用関係

皆) 障害者サービス受給で第二号保険者の場合、個人の状況を尊重し、介護保険移行は慎重に。**答)** 当事者や家族を交えて丁寧に行っている。

★障害者差別解消法…障害者へ合理的配慮を

皆) 差別的な対応をせぬよう、職員向けの手引きである対応要領の策定と職員研修の実施は？**答)** 必要性は認識し庁内で策定を検討中だ。本テーマの研修で臨時職員へも取り組んでいく。

★庁内連携でファミリーソーシャルワークを 皆) 介護、引きこもり、DV被害者等一つの家庭の中に複数の問題を抱えている場合がある。一人への支援というより家族全体を支援すべき。**答)** 複合的な問題を抱える世帯へ横断的に包括的支援について相談シート等内部検討している。

★市民参加・情報公開は機能しているか？

皆) 国分寺まつりに出店できなかった団体が補助金団体である実行委員会の議事録等情報公開請求したが「文書不存在」との結果。市の情報公開条例の趣旨が伝わっていないのではないか。**答)** 透明化を図るよう事あるごとに伝えている。

皆) 市が事務局を担っている団体だ。文書を残すよう規定の見直しも必要ではないか？**答)** 機会あるごとに説明し、実行委員会の主体性独自性を尊重した上で検討されるべき事項だ。

★主権者、政治教育は日頃の積み重ねが大事

皆) 明るい選挙のポスターは多摩地区でも一位二位と多数の応募数だ。学校現場では租税教育、人権教育、環境教育と主権者教育そのものだ。**答)** 教育活動の中で社会を形成者する一員としての自覚を持つ教育を進めていくことが重要だ。

ぶんバス新たなステージへ 不妊症対策を求む



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

【1】ぶんバス事業の成否はデータ収集キモ！

尾澤➡ どのバス停でどれだけ人が乗り降りしているのか把握できていないのが大きな課題。乗降客のデータ収集を行い、効果検証をしてサービス向上やルート再編に活用していくべき。乗降客の利用状況を把握するシステムを導入していただけますか？

※民間バス事業者がこのシステム活用してバスルートの検証と見直しにより年間乗降客数25%アップを果たした実績もある。

答弁➡ 乗降客の詳細な利用状況を把握することの重要性は認識している、費用面を含めて検討を進めていきたい。

【2】不妊症についての取り組み強化！

尾澤➡ 現在、本市では不妊症についての相談窓口整備や、国や都の事業とは別に市独自の取り組みは行われていない。市独自の取り組みとしては東京都の特定不妊治療費助成の上乗せ補助や医療保険の対象外である男性不妊検査費の一部負担などが考えられるが、直ぐにもできることとして不妊症相談窓口の整備を求めます。

答弁➡ 今後、市のホームページにおいて都の助成制度、医療費助成制度、それから国の相談センター、また東京都のホットライン等を御紹介します。その上で国分寺市独自の不妊症についての支援策を考えていきたい。

【3】公共用地を確保無くして市の発展なし！

尾澤➡ 公共施設のマネジメント(統廃合)や、自治体間競争に勝つための魅力あるまちづくり(まちなかスタジアム建設等)を行っていくために良い立地(駅近等)にまとまった公共用地を確保していく必要がある。

答弁➡ 公共施設の再配置計画や個別施設計画などをこの2年間で策定する時期である。そのような内容も含めて公共用地のあり方について、今後検討していく。

【4】市境地域の道路に継続性を！

尾澤➡ 特別養護老人ホームサンライトの前の南北に通る道路があり国分寺市と立川市との市

次ページに続く➤

境の国有地（空地）の箇所がセットバックされておらず、ボトルネックになっている。立川市と国に協議し、当該箇所の改善を求める。

答弁▶ 道路状況を改善できるように立川市と協議したうえで、国有地の所管省庁へ働きかけを行っていきたい。

交通安全対策の強化 特に自転車への対策を



日本共産党国分寺市議団 中山 こう

《交通安全対策の向上を》

問 対策をすすめるうえで、市内における事故について、警察との情報共有を図るべきだ。

都市建設部長 事故の状況等の把握は必要。小金井警察から詳細な情報をお願いしてみたい。

問 2月末までの集計では、市内における事故発生件数は都内49市区町村中47位と少ないが、事故への自転車関与率は1位。自転車の安全対策として、自転車用カーブミラーの設置を検討すべき。

都市建設部長 自転車に特に危険な場所などで、自動車用と自転車用の両方の機能が果たせるような対策を協議していく。

《利用しやすい公園に》

問 計画的な公園管理をすすめるためにも維持管理計画を策定すべき。

都市建設部長 平成29年度中には維持管理計画を策定していきたい。

問 保育士から園児を公園に連れて行った際、保育士がゴミ拾いをしてから園児を公園に入ると聞いた。公園管理の強化が必要。保育園にご協力いただき、公園の状況を把握すべき。

都市建設部長 保育園や幼稚園等が利用している公園の確認はできると思う。公園の状況確認については検討する。

《高齢者福祉の拡充を》

問 介護予防を縮小してきた国分寺では介護認定者の伸び率が多摩26市中3番目に高い。にもかかわらず、市は生活機能が低下している方への介護予防をなぜ止めてしまうのか。

福祉保健部長 機能が低下した方の把握、介護予防への参加の仕組みは研究したい。

*研究という段階ではなく、一刻も早く介護予防につなげる必要がある。

問 介護認定者の障がい者控除について、制度の周知徹底を求める。

福祉保健部長 今年度中に周知方法を精査。

《子どもの貧困対策の強化を》

問 子どもの貧困対策は待ったなしの課題と考えるが市の見解は。

子ども家庭部長) 課題と認識している。

問 待ったなしの課題という認識を持つことが大切。そして、国分寺の実態把握をするべき。**福祉保健部長** 実態調査における項目等の研究が必要。先進事例等を研究し検討する。

障害者差別解消、防災 対策、西国分寺駅東口



日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜障害者差別解消法の具体化を＞

問 障害者差別解消法は、障害者権利条約の批准にあたり必要とされ、つくられた。国分寺市でいかに具体化するかが問われている。市として差別事例の実態把握のため、当事者へのアンケートや聞き取り調査を実施してはどうか。

答 システムとして必要であれば考えたい。

問 そもそも障害とは、合理的配慮とは、について理解されている所を説明して頂きたい。(質問に対して総務部長はまともに答えず)

問 障害者差別解消条例を制定することを求めたい。研究検討するとは既に述べられているが、もう一段進んだ検討を。

答 まずは法の趣旨を踏まえた実効的な取り組みを着実に一つひとつ進めていきたい。

＜震災への備えを充実し、万全に＞

■防火水槽の設置について

問 日吉町、富士本、戸倉、東元町などは延焼危険地域であったり都が新たに木造住宅密集地域と指定している且つ防火水槽が充足されていない地域となっているが、どうするのか。

答 開発行為の際に設置をお願いしたり、市施行での設置も必要。課題として一番大きいのは市の所有している土地が無いということ。

■感震ブレイカーの普及について

問 阪神大震災や東日本大震災では火災の6割程度は電気が原因。予防第一の防災対策として、感震ブレイカーの普及を。

答 防災用品のあっせんを行う中で、市民の方に感震ブレイカーを安く購入して頂きたい。

＜西国分寺駅東口開設を＞

問 改定された都市計画マスタープランにおいて、東口開設を見据えた条件整備を行う幾つかの記述が含まれていることは評価したい。今後どのように具体化し、どこまで具体化すれば東京都への協力要請を行う条件が整うか。

答 中間年までの取組みとして位置づけている。

問 東口開設のための基礎調査が実施されてから15年が経ち、状況は一変している。また、出来るだけ簡易でお金をかけない案も検討してはどうか。そのため、改めて基礎調査を行なって

はどうか。

答 国、都の補助金等で使えるものを見つけ、その上でしっかりと基礎調査をし、国、都、JRと協議していくというのが現在の考えだ。

市民参加・自治基本条例の 後退は許されない



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野 ◆国分寺市総合ビジョンの策定について ◆参加したい市民が参加出来ない事態だ。現行の第四次長期総合計画策定時のワークショップでは7つの部会で各17回～22回行われていたが、ビジョンの策定時には全体で5回しか行われぬ。自治基本条例の大きな後退だ。

しかも、ビジョンの実行計画について、市民参加は一つもない。これは自治基本条例違反だ。**部長** 違反はしていない。説明会を実施する。**幸野** 市の最高位の計画について、パブリックコメントもやらず、説明会だけで済ますというのは、重大な問題であり、市民参加が10年前に逆戻りしている。非常に由々しき問題だ。

幸野 ◆国分寺まつり問題の早期解決を ◆先の予算特別委員会で、武蔵国分寺公園の占用許可を受けていたのは「実行委員会」ではなく「国分寺市」であったことを明らかにしたが、であるならば、国分寺市の責任で解決を図るべき。**部長** 全体にかかわる管理をしているのは「実行委員会」なので、市として一定の判断を下すことは不相当だ。市は後援している立場だ。

幸野 市は後援していると言うが、市が事務局を担っている事業で、市の事業でない事業はない。国分寺まつりのありとあらゆることを市が事務局として行っている。占用許可という法的権限に加え、実質的に市の事業であるならば、憲法や地方自治法、自治基本条例に照らして、市が判断すべきであり、是正するよう求める。**部長** 事務局職員と、市の職員の身分の使い分けは難しいが、基本的には後援という立場だ。

幸野 ◆子育て支援に本腰を ◆公立保育園の民営化は保育士を手放し、コストも増加させ、待機児の解消に逆行する。見直すべきだ。**部長** 民間保育園の誘致と、公立保育園の民営化を一体に待機児解消に取り組んでいきたい。

幸野 無認可保育所の閉園時の対応の強化を。**部長** 今回の件を機会に対応を検討していく。

幸野 今の経済状況は深刻だ。一方で市の財政状況は、消費税の増税などで好転している。ダブルパンチの保育料の値上げは中止すべきだ。**副市長** 今後、検討委員会の答申を踏まえて総

次ページに続く▶

甲斐よしと議員が 議会運営委員会・本会議で陳謝

5月9日開催の議会運営委員会を無断欠席した甲斐よしと議員が、その後の議会運営委員会及び本会議で陳謝しました。その内容は以下のとおりです。

「私は、5月9日13時からの議会運営委員会の開催を失念しており、届け出をせず欠席してしまったことに、改めて議会並びに関係各位、市民の皆様におわびをさせていただきます。申しわけありませんでした。

今後、このようなことがないよう、反省して、身を引き締めてまいります」

甲斐よしと議員に対する 問責決議を可決

6月1日開催の本会議に出席した甲斐よしと議員の行動に対し、6月23日開催の本会議に問責決議が提案され、全員賛成で可決しました。その内容は以下のとおりです。

「甲斐よしと議員は、5月9日の議会運営委員会を無断欠席した件に関して、本人の申し出により、5月30日の議会運営委員会及び6月1日の本会議にて陳謝した。

しかし、甲斐よしと議員は、6月1日の本会議に酒気帯び状態で出席し、議長から厳重注意処分を受けた。しかも、甲斐よしと議員は、

当日、自家用車で登庁したことが判明した。そのことは複数の議員が、本人から確認している。今回の行為は、市議会及び市議会議員に対する市民の信頼を失墜させるものである。

国分寺市議会会議規則第149条は、議員は、議会の品位を重んじなければならないと定めている。

甲斐よしと議員の行為は、市民の負託を得て、日々市民の模範となる行動を求められている国分寺市議会議員としてあるまじき行為であり、許されるものではない。

よって、ここに甲斐よしと議員の議員としての責任を問うものである。

以上、決議する」 平成28年6月23日 東京都国分寺市議会

合的に判断し、必要ならば提案していく。
 幸野) 学童保育所の増設も早急に実現を。
 部長) これは加速度的に取り組んでいきたい。
 教育委員会とよく相談をしていきたい。

西国分寺東口開設へむけて



無会派(無所属) 甲斐 よしと

甲斐) 現在、西国分寺駅東駅周辺広場には、本年7月1日から併用予定で、平成33年度末までの暫定利用の自転車300台原付52台大型中型自動二輪30台もの駐車場が整備されようとしている。これだけのスペースとJR線路沿いの広場スペース、また掘割りになっているJR中央線に連なる駅前広場地中権スペース、さらにはその地上2階にあたるスペース、これらをJR側の駅モール構想にあてはめて、商業利用の可能性を模索してもらい、併せて東口改札を造っていただく方策で、請願駅だから23億円市負担というJR側の言い分を回避できる可能性を探りましょう。

都市開発部長) モール構想に寄与するということが東口改札に結びつくかはJRがその商業にて収益が見込めるかのお考えだから、一つの要素としてお伝えはできるが、その上で協議をしていただくことはできるかなと思っております。

甲斐) この案を進めるには時間もかかります。それは地区計画の変更が必要だからですかね？

都市計画担当部長) 改訂都市計画マスタープランに即し、例えば駅前の立地特性を生かし等であれば地区計画の変更は可能であると考えてる。甲斐) 商業誘動がなされれば照明により、明るくなる。また昨年提案した羽田空港をまず、

始めとする中・長距離バスの発着のメッカを目指す提案の進展は？

政策部長) バス運行会社と協議中である。

国立駅北口整備で福祉車両優先の停車スペース
 甲斐) 国立駅北口は言うまでもなく国立市民より、圧倒的に多くの国分寺市民が利用する。そこで、最近整備された三鷹駅・武蔵境駅は福祉車両優先停車スペースがあり、超高齢化社会も見据えた設計になってるではないか？

都市計画担当部長) 国立市に確認をしたい。
 甲斐) 確認ではなく要請を。またタクシー乗り場やバス停へ雨に濡れず行けるシェルター(屋根)の設置も要請していただきたい。

都市計画担当部長) 先程の件とあわせて、お伝えして、確認をしていきたい。

忌野清志郎氏は二小、三中出身。大きな影響力。昭和記念公園の松任谷由実氏の歌碑等、著名人の聖地巡りは今や“まちおこし”。また、ふるさと納税の返礼品として承諾を得て清志郎氏関係グッズを返礼品として歌碑を造ったらどうか。

戦略的な広報で持続可能な自治体経営を!



国分寺政策市民フォーラム 木村 いさお 徳

木村=28年度に入り、ふるさと納税の新たな取り組みが見られない。北口再開発に合せ、銘板に寄附者氏名を記すなど、これまで提案してきたことを含め、今後の一層の取り組みを。

政策部長=今年度、日本地球惑星科学連合の大会に参加する等、引き続き宇宙開発発祥の地・国分寺のPRを引き続き行っている。

副市長=他市でのふるさと納税の成功例を見ると、地元企業等とのタイアップが大事だ。銘板

については鎌倉市や関市などの成功事例を参考に、今後予算として提案していく。

木村=情報発信は極めて重要だ。インターネット等だけではなく、看板塔の設置などの従来からある宣伝媒体も併せて、活用すべきだ。

都市開発部長=国分寺駅北口広場に、早々に設置可能な場所の抽出を行っていく。

木村=昨年命名された小惑星「Kokubunji」に関して、命名されたことで満足するのではなく、更なる活用を。例えば、他市の事例でもあるような特別住民票の発行等の事業などにより、収入につなげるべきだ。

政策部長=自治体名が命名された小惑星があるということは他の自治体とは違うところであり、新たな展開として取り組んでいく。

木村=人材育成に関連し、優秀な人材確保のために採用試験日程も攻めの姿勢を、と求めてきた。一方民間の有効求人倍率が24年ぶり最高水準という状況下だが応募状況とその分析は。

総務部長=今年度の採用試験は東京都のI類Aと同日にしながらも応募が520人と、過去2番目に多かった。これは市制施行50周年での宇宙開発発祥の地としての取り組みが、受験者を引き付ける魅力になったと考えている。

木村=AEDがほぼ全ての公共施設に設置されたが、一方でそれを操作できるAED講習受講者の職員が嘱託職員、臨時職員含めてもわずか134名しかいない。全職員が受講を。

総務部長=機器があっても操作できない、では本末転倒だ。現状は率直に少ない。今後各施設に配属されている職員の受講を徹底する。

木村=市内の道路としての位置づけがない遊歩道には法令上の根拠がなく、事故が生じた場合、大きな問題が残る。速やかな例規の整備を。

都市建設部長=確かに遊歩道には根拠法令がない。例規等の整備を早急に講じる。

議案に対する議員の表決状況 (賛否の分かれたもの・退席があったもの)

議案名	議員名													無											
	吉田りゅうじ	尾作義明	尾澤しゅう	田中政義	本橋たくみ	新海栄一	須崎宏	丸山哲平	木村徳	及川妙子	だて淳一郎	星いつるう	皆川りうこ		さの久美子	高橋りょう子	なおの克	木島たかし	幸野おさむ	岡部宏章	中山ごう	高瀬かおる	秋本あすか	岩永康代	甲斐よしと
議案第65号 国分寺市介護保険条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	退	○	○	○	
議案第68号 平成28年度国分寺市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	欠席
議案第69号 平成28年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	

・表決(○=賛成 ×=反対 退=退席)
 ・会派名(政策市民フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、共産党=日本共産党国分寺市議団、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、無=無会派(無所属))

第2回定例会議案審議結果

第2回定例会には議案12件が提出され、承認4件、可決8件となりました。
 ※太字表記の議案の表決結果は上記の表を参照してください。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
第60号	専決処分について(平成28年度国分寺市一般会計補正予算(第2号))	固定資産税・都市計画税の住宅用地に対する課税標準の特例を適及適用すべき案件が判明し、還付処理を行う必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
第61号	専決処分について(国分寺市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	地方税法の改正に伴い、固定資産税の特例税率等の規定を整備する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
第62号	専決処分について(国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の減額に関する規定を整備する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
第63号	専決処分について(平成28年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	平成27年度国民健康保険特別会計の収支に不足が見込まれたことから、繰上充用を行う必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
第64号	国分寺市消費生活条例の一部を改正する条例について	消費者安全法の改正に伴い、消費生活相談室の組織・運営等に関する事項に関する規定を整備する。	全員賛成・可決
第65号	国分寺市介護保険条例等の一部を改正する条例について	介護保険法の改正に伴い、地域密着型通所介護に関する規定等を整備する。	賛成多数・可決
第66号	国分寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、ひとり親世帯等及び多子世帯の利用者負担額に係る特例措置等を定める。	全員賛成・可決
第67号	国分寺市子どもいじめ虐待防止条例及び国分寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	学校教育法の改正に伴い、関係条例の規定を整理する。	全員賛成・可決
第68号	平成28年度国分寺市一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に5,339万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ413億8,061万8千円とする。	賛成多数・可決
第69号	平成28年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に195万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ26億8,005万6千円とする。	賛成多数・可決
第70号	財産の譲渡について	民地内に設置した雨水浸透ますの適正な維持管理を図るため使用者に譲渡する。	全員賛成・可決
第71号	平成28年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)	東京都知事選挙の執行に伴い、歳入歳出予算の総額に5,311万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ414億3,373万1千円とする。	全員賛成・可決